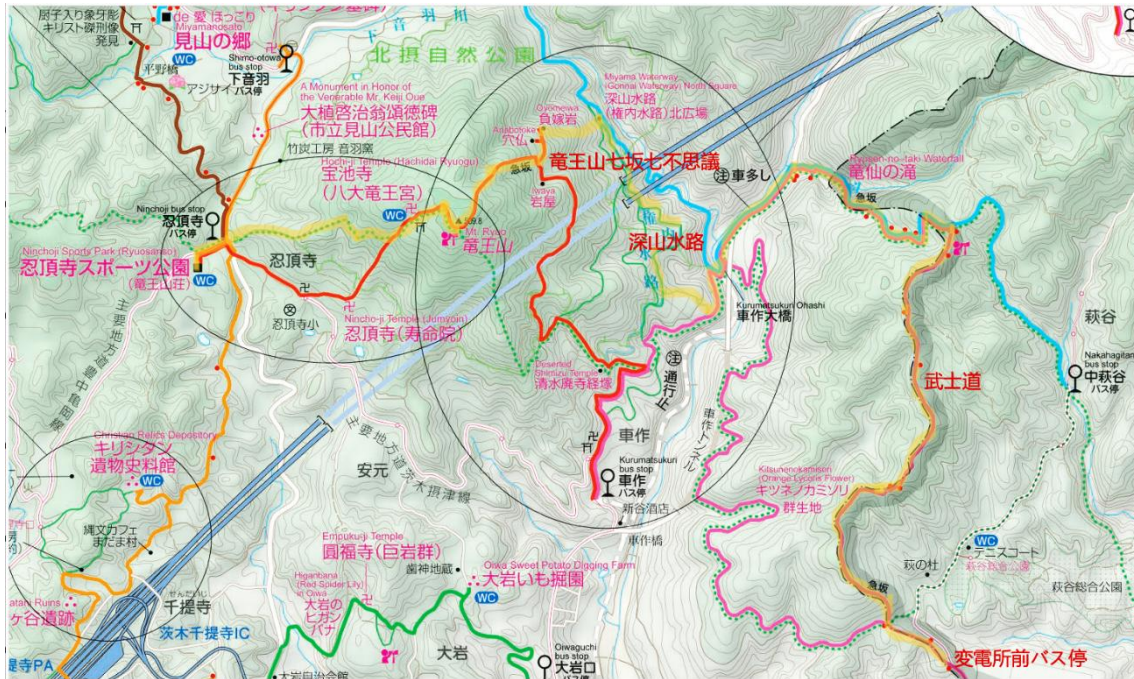


## パーソナル山行「2025 納山会」立ち寄り先ガイド



● 武士(もののふ)道

- **戦国武将の辿った古道**だという。北摂地方は高山右近に代表されるように切支丹が多く暮らしていた。灌木に囲まれた樹林帯を縫うように、彼らがこの道を踏み固めたのだと思うと感慨深いものがあります。

● 竜王山

- 宝亀年間(770~780 年)、大干ばつに見舞われた際、勝尾寺を開基した開成皇子が、雨乞いの神様である八大龍王を召請して雨に恵まれたことにより、その後**八大龍王宮(宝地寺)**を建てました。以降この山を竜王山と呼ぶようになったと言い伝えがあります。**大阪平野が一望**できる広々とした山頂を持ち、「大阪みどりの百選」に選ばれている台地上の穏やかな山です。



● 宝池寺(八大龍王宮)

- 麓にある宝池寺は山号を竜王山という融通

念仏宗の寺院で、1774 年の創建。八大龍王宮も管理祭祀し、寺宝として、龍の骨と称するものを秘蔵しているとされます。

- 参道の左右には、石碑や奇岩の「蛙岩（かえるいわ）」、また行場のひとつ、その昔薬師如来が出現したと言われている「岩刀山（いわたちやま）」やその祠などがあり、厳かさが増します。

- **竜王山七坂七不思議「穴仏、負嫁岩」**

- 「穴仏（あなぼとけ）」は、戦国時代の戦火から忍頂寺（にんちょうじ）に安置していた薬師如来を守るため、この岩の中に安置したと言われます。
- 「負嫁岩（およめいわ）」には、この村に嫁いできた怠け者の嫁が仕事いやさに憩いにきていたところ、天狗によって餓死させられたという伝説があります。



- **深山水路（権内水路）**



- 今から 290 年ほど昔の宝永年間に、村の庄屋であった畑中権内が、安威川の支流である下音羽川から水を引くために**独力で作った水路**です。権内は、身の危険を冒してまで水路を作り、村内の田畑を潤し、村を豊かにし大変喜ばれました。この水路は、今なお豊かな流れを保ち、車作地区の農業用水として利用されています。

- **忍頂寺（時間があれば立ち寄ります。）**

- 高野山真言宗の寺院。山号は賀峰山（かぶさん）。本尊は薬師如来。現在は 寿命院（じゅみょういん）とも称し、村の人からはその名の方が良く通る（「にんちょうじ」は町名になっているため）。忍頂寺は大阪みどりの百選に選出されているのどかなお寺で、心が癒される。境内には、大阪府の指定文化財となっている、**元亨元年（1321 年）7 月 15 日**と、銘の刻まれた**総高 2.3 メートルの花崗岩製の五輪塔**があります。